街の元気 ● みんなの元気を応援します

viva city

ビバ＊シティ

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報 103

VOL. 17

2017 August

特集 柔道

柔道整復術の源に 武道のこころ

河北潟ひまわり村の夕日

[柔道整復師倫理綱領]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。
ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

１、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
２、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
３、相互に尊敬と協力に努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
４、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以て接する。
５、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 ● みんなの元気を応援します

viva city ビバ＊シティ

VOL. 17

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報103

2017
August

C O N T E N T S

1 **巻頭言**
和をもって貴しとなす　嶋谷　清

2 **第42回定時総会を開催**

5 **喜びの受賞者**

7 **平成29・30年度　役員・理事紹介**

11 **［特集］　柔道**
第30回（公社）石川県柔道整復師会会旗争奪少年柔道大会
四支部対抗柔道大会 兼 北信越ブロック柔道大会選手選考会
第39回北信越ブロック柔道大会 長野大会

17 **（公社）日本柔道整復師会 第39回北信越学術大会長野大会**

18 **サポート接骨石川（SSI）活動報告**
❶ 加賀温泉郷マラソン2017
❷ 第31回猿鬼歩こう走ろう健康大会
❸ 第66回金沢百万石まつり

22 **支部だより**
金沢北支部／加賀支部

23 **第23回柔道整復師協同組合通常総会を開催**

25 **トピックス**
新入会員紹介

巻頭言
かんとうげん

和をもって貴しとなす

～闊達な議論で風通しの良い組織を～

■嶋谷　清
（しまや きよし）
（公社）石川県柔道整復師会 会長

［プロフィール］
平成９年より６期12年間にわたり理事を務め、加賀支部長・学術部長・総務部長を歴任。平成21年に副会長、平成27年に第11代会長に就任。現在２期目。

会員の皆様方には、平素より公益社団法人石川県柔道整復師会の事業活動に多大なるご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

先ごろ開催された第42回定時総会において２期目の会長職に選任頂きましたこと、重ねて心よりお礼申し上げます。初心を忘れず、驕ることなく、気を引き締めて諸問題に対処していきたいと思っております。

さて、我々の生業である柔道整復師業界は、これまでにない厳しい時代を迎えておりますが、そこには種々の問題があると思います。一つは皆さんご承知のように、国の財政赤字健全化の施策として推進されている厚生労働省による医療費削減です。柔整療養費でも「患者調査」として実施されており、今後も継続されることとなっています。そのような中、「調査書が届いたが接骨院へ掛かってはいけないのか？」「接骨院は何か悪いことをしているのか？」と間違った捉え方をされるなど、患者様からの不評を耳にすることが多いように思われ、来院数の減少にも影響しているように感じているところです。会員各位には患者様に対して十分に施術方針を説明し、保険取り扱い協定を厳守していただくことを改めてお願い申し上げます。

業界における問題の一つとして、本会会員ではありませんが、柔道整復師法の広告の制限に反する行為が散見されます。これについても、再度確認のうえ適正化に努めて頂きますようお願いします。非会員については行政機関等と相談しながら対処すべきと考えていますので、そのような事例がありましたら本会までお知らせください。違法看板、宣伝については大変難しいところもありますが、正直者が馬鹿を見るようなことがあってはなりません。他県の情報を聞きながらしっかり対応していくためにも、ご提言、ご意見がありましたら、お知らせ頂ければ幸いです。

なお、今年度より新理事２名が加わり、斬新な意見と行動を期待しているところです。平成29年度の理事会は、聖徳太子が制定した十七条憲法の第一条に出てくる「和をもって貴しとなす」※をスローガンに活動を進めてまいります。先達が築き上げたこの業界をしっかりと守り、会員はもとより後生の柔道整復師を目指す人達が夢と希望を抱けるように、努力を惜しむことなく山積する課題に取り組んでいきます。会員皆様方から頂いた提案を参考に、理事会、事務局とともに知恵を出し合い、理事会で検討を重ねてまいりたいと思っております。

最後になりますが、会員皆様方にはますます健康でそれぞれの立場でご活躍され、そして、これまで以上のご理解とご協力をお願い申し上げます。

※自分にも人にも正直に、不満があればそれをぶつけ合い、理解し合う。

第42回 定時総会を開催
～役員改選、新しい視点で課題に挑もう～

平成29年4月23日(日)、石川県地場産業センターにおいて定時総会・表彰式・接骨師連盟総会が開催されました。なお開会に先立ち、物故会員・家族への黙祷が捧げられました。

第42回 定時総会
（午後1時開会）

総会員数／ 345名
出席者数／ 166名
委任状出席者数
／131名
欠席者数／ 48名

1、開会の辞　　堂本　義邦副会長

2、会長挨拶　　嶋谷　清会長

審議を前に嶋谷会長が挨拶を行い、その中で2期目の抱負を述べた。

会員各位には、平素より本会事業運営にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

先ほどご臨席の谷本知事から、10年前の能登半島地震で本会が行った組織的な救護活動について、その重要性と今後の活動への期待の言葉を頂いたところです。本会では日赤奉仕団を結成して災害への備えを行っていますが、緊急連絡網を充実させることでより多くの会員を動員し、迅速に対応できる体制を整えていきたく思います。

介護保険の包括ケアシステムへの参画については、まだハードルが高いという認識です。介護保険法の基本的なルールのもとで柔道整復師がいかに活躍できるか日々考えているところであり、会員それぞれの地域からのご意見、ご指導を頂きたく思います。

終わりに、本会顧問田中博人様が平成28年度で退任されることとなりました。長きにわたる多大なご尽力に感謝を申し上げます。今後も執行部一丸となって邁進してまいります。

（要旨抜粋）

当日出席の会員は166名。

3、議長・副議長選出

議長に小松英夫会員（金沢北支部）、副議長に坂井秀一会員（金沢南支部）を選出する。

小松議長（左）、坂井副議長により審議が進められた。

4、議事録作成人・署名人選出

議事録作成人に森田淳会員（金沢北支部）、署名人に西剛志会員（加賀支部）、川上勝会員（金沢南支部）が選出された。

5、議案（審議事項）

①平成28年度事業実施報告に関する件

金田豊茂総務部長から説明される。

②平成28年度収支決算報告並びに監査報告に関する件

超音波画像診断装置の使用料金について質問する永原克男会員。

山田俊志経理部長からの説明の後、山下純二監事・西徹夫監事から適正に処理されている旨、監査報告があった。

③役員選出に関する件

15名の理事候補者と１名の監事候補者の選任決議が挙手によって行われ、賛成多数で会長、副会長２名、監事１名、理事12名が選出された。また会員外監事として西徹夫氏が選出された。

役員の選出法について説明を行う、宇野幸治選挙管理委員長（右は中越昌人選挙管理委員）。

④(公社)日本柔道整復師会代議員選出の件

宇野幸治選挙管理委員長から選出について説明の後、それぞれ立候補があり承認された。

＜代議員候補＞

一位／嶋谷　清会員　　二位／二ツ谷剛彦会員

＜補欠代議員候補＞

一位／堂本 義邦会員　　二位／金田 豊茂会員

⑤その他

⑴嶋谷会長が今後の審査会について説明。

⑵西川典孝保険部長が広告に関するガイドラインについて説明を行った。

⑶金田総務部長が来年度からの定時総会開催日について説明。また、緊急連絡メールの登録について説明と要請を行った。

⑷津田佳之理事からＮＨＫの月刊誌『ラジオ深夜便』購読の説明とお願いがあった。

各議案については、資料に基づく詳細な説明と質疑応答の後に可決承認された。

6、報告事項

①平成29年度事業計画案に関する件

金田総務部長から報告される。

②平成29年度予算案に関する件

山田経理部長から報告される。

7、閉会の辞　　金田 豊茂総務部長

総会終了後、新入会員と北信越学術大会の発表者および北信越ブロック柔道大会代表チームの皆さんが紹介されました。

新入会員の皆さん

写真左から、赤池央成、俵大輔、寺口智也、北川丈、森本忠夫の各会員（渋谷利之、今川真昭会員は欠席）。

北信越ブロック柔道大会代表チームの皆さん

写真左から、西川典孝柔道部長、北浦健司、小倉弘行、城寶忠信、田中寿人、窪田和樹の各選手。

北信越学術大会発表者

岡本透会員。

■石川県柔道接骨師連盟総会

定時総会に先立ち、午前 10 時より石川県接骨師連盟総会が行われました。嶋谷清委員長の挨拶の後、今期をもって退任されることになった田中博人石川県柔道整復師会顧問からご挨拶がありました。田中顧問には、長きにわたりお世話になり誠にありがとうございました。

田中顧問へ感謝の花束が贈られた。

次に、議長に小松英夫会員、副議長に坂井秀一会員を選出して次の議題を審議しました。

【議　題】

1．平成 28 年度事業実施報告に関する件

2．平成 28 年度収支決算報告並びに監査報告に関する件

3．その他

各議題とも詳細な説明と報告があり質疑応答の後、賛成多数にて承認されました。

■表彰状授与式

定時総会開会直前の午後 1 時より表彰式が行われ、本会の発展に功績のあった会員を称えて、各種表彰状が贈られました。今年度の石川県知事表彰は３名の会員が受賞し、ご臨席頂いた谷本正憲知事からお祝いの言葉を賜わり表彰状が手渡されました。

謝辞を述べる赤池会員。

受賞者を代表して赤池敬順会員が謝辞を述べ、これからも県民の健康増進のため全力で柔道整復業務に邁進していくことを誓いました。

祝辞の中で谷本知事は、10 年前の能登半島地震をはじめとする本会のボランティア活動に対し感謝の言葉を述べられた。

今年度石川県では、県民文化スポーツ部を創設しました。貴会におかれましても長年にわたり少年柔道大会を開催され、松本薫選手もこの大会で活躍したと聞いています。これからも文化やスポーツの裾野を拡げるためにご協力を頂けると喜ばしい限りです。

谷本知事と医療功労者県知事表彰受賞の皆さん（写真左から、嶽与志蔵会員、赤池敬順会員、谷本正憲知事、唐木均会員）。

喜びの受賞者

**定時総会の席上、施術を通して地域医療に貢献のあった
３名の会員に石川県知事表彰状が贈られました。**

32年、恩師の言葉を糧として

赤池 敬順

この度は、名誉ある「医療功労者知事表彰」の受賞にあたり、ひとえに先人の先輩先生達、役員の先生方、同志の会員の先生方のご指導・ご理解のお陰であると、感謝致しております。

接骨院を開業し約32年、医療従事者として石川県民・地域住民の健康増進のため、柔道整復業務に邁進してまいりました。その間、理事、総務部員、事業部員として、また日本接骨学会、北信越ブロック接骨学会にて論文発表をさせて頂きました。また、各種ボランティア活動に参加してきた地道な活動に対しても評価を頂いたものと、感謝致しております。

私は木島整形外科病院にて研修をさせて頂きましたが、その間の恩師・木島先生との「２つの会話」が、今の私の施術の基本・教訓となっております。「赤池君、患者の体は、ちゃんと治るようになっとる。わしら医者や柔道整復師は、それのお手伝いをするだけや。治そうと思う気持ち・慢心が、間違い・医療ミスを起こすんや」と「当たり前の治療・施術が、一番難しい。当たり前のことができないから、皆、変な方向・やり方に走ってしまうんや」でした。今までの接骨院業務において、木島先生のこのお言葉を糧に県民の健康増進に寄与できたと、改めて感謝しております。

これからも県民の健康のため、柔道整復業務に邁進する所存でありますので、会員の皆様、今後ともよろしくお願い致します。

初心忘れず、日々研鑽を…

嶽 与志藏

この度は、第42回定時総会の席において、名誉ある医療功労者県知事表彰を谷本正憲石川県知事より賜り、身に余る光栄と心よりお礼申し上げます。これもひとえに、嶋谷会長はじめ理事の先生方、会員の皆様のご指導、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

本会に入会させて頂いてはや30年が経ちましたが、思い起こせば入会当初から本会の少年柔道教室「整式塾」の指導員に配属して頂き、柔道を通じて微力ながら児童の健全育成に努めてまいりました。丁度その頃、念願の本会主催「第１回会旗争奪少年柔道大会」を開催することができ、関係者一同喜びに満ちていたことを懐かしく思います。

また、自らも柔道の選手として、北信越ブロック柔道大会に何回か出場させて頂くなど、大好きな柔道に関わる機会を数多く頂いたことに心より感謝申し上げます。

あっ、という間の30年でしたが、この受賞を励みにこれからもなお一層研鑽を積み、決して慢心することなく「謙虚にして驕らず」を信条に本会の発展、県民、地域住民の健康増進、福祉向上に邁進する所存です。

これからも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

地域の皆さんの健康に貢献を

唐木　均

第42回公益社団法人石川県柔道整復師会定時総会の席上おいて、医療功労者県知事表彰を谷本正憲県知事より直々に賜り、身に余る光栄と心よりお礼申し上げます。

この受賞も、嶋谷会長をはじめ歴代会長、役員の皆様、諸先輩方、会員の皆様、本会事務局員の方々のご指導、ご支援のお陰と深く感謝申し上げます。

もうずいぶん前のことになりますが、小松市内の地域親睦ソフトボール大会に参加した時のことです。ランナーと守備の人がぶつかり転倒、どちらかの人か記憶は確かではありませんが、肘関節を後方脱臼し応急処置として整復し病院へ。その後、試合会場に戻って来られた患者様に感謝されたことを思い出します。

この時のように、これからも地域の皆様方の健康に少しでも貢献できるよう、微力ですが頑張っていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

おめでとうございます！
～各賞受賞の皆さん～

会長表彰

永年会員表彰…会員歴25年以上

写真左から、菅沢秀人、竹野敬治、干場和規の各会員（堀輝好会員は当日欠席）。

日整表彰

生涯学習認定会員表彰

写真左から、錦川孝彦会員、中田健市会員（丸田克幸会員は当日欠席）。

ボランティア活動優良会員

写真左から、東勝一、藤本武、西川典孝の各会員。

役員紹介 平成29・30年度

会　長　嶋谷　清

さらなる発展に向けて

副会長
二ツ谷 剛彦

この度、役員改選において会員の皆様より信任をいただき、再び副会長職の重責を担うことになりました。昨年度までは、保険取扱い業務を中心に少しでも会員の皆様のお役に立てるよう努力してまいりました。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。今年度からは、その経験をさらに生かし、保険・事業・広報部を統括しながら、皆様のためにより一層広い視野をもって職務に専念する所存です。

第１回理事会において、嶋谷清会長が話された「温故知新」「和を以って貴しと為す」を心に留め、堂本義邦副会長と 12 名の理事とともに力を合わせながら、執行部一丸となって、公益社団法人石川県柔道整復師会のさらなる発展に向けて邁進していきたいと思っております。今後とも、ご理解・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

公益社団法人として意義ある事業活動を

副会長
堂本 義邦

この度、第42回定時総会及び理事会にて２期目の副会長に選任を頂き感謝申し上げますとともに、改めて責任の重さに身が引き締まる思いです。前期同様に総務部、経理部、学術部を担当し、嶋谷清会長はじめ二ツ谷剛彦副会長、各部長、理事とともに本会発展のため尽力いたします。

嶋谷清会長の年度方針である「温故知新」「和を以て貴しとなす」の理念を踏まえ、伝統の技を守りつつ最新の医療も学びながら、「あなたの町の接骨院」として地域の患者様の痛みやお心に添える柔道整復師を目指したいと思います。

公益社団法人として会員の皆様のため、そして県民の皆様のために有意義な活動や社会貢献ができるよう、役員一同、皆様のご意見に傾注し邁進する所存です。

ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

監　事

山下 純二
（会員監事）

西　徹夫
（会員外監事）

平成 29・30 年度 理事紹介

**今期にかける想い、決意をひと言で！
理事の皆さんに語っていただきました。**

山田 俊志
（能登支部）

総務部長を拝命しました。正副会長・理事・部員・委員･事務局の皆さんとともに、「素直」「奉仕」「謙遜」「譲り合い」「感謝」の心で、本会と皆様にお仕えしていく所存です。本会のさらなる発展・向上に寄与できるように邁進いたします。皆様方にはご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

中村 茂之
（加賀支部）

今年度より学術部長となりました。学術団体として、本会および会員の意識・知識・スキル向上を目指し、また、会員同士の親睦と融和を図りながら、２年後の北信越ブロック学術大会・石川大会に向けて、さまざまな提案をしていきます。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

金田 豊茂
（金沢北支部）

この度、経理部長を拝命いたしました。公益社団として適正な活動がなされるよう、会員各位からお預かりした大切な会費の適切な運営に努め、経理的視点より本会の事業を支えていきたいと考えております。会員各位には変わらぬご協力、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

西川 典孝
（金沢南支部）

前期に引き続き保険部を担当することになりました。日頃より保険業務にご協力頂きありがとうございます。保険部の業務には、新入会員保険指導、厚労省・保険者・日整等からの保険等通達の会員への周知、各種改訂の際の申請書ガイド改訂やレセコン各社への改訂依頼などがあります。また、会員からの質問や問題等に迅速・正確にお答えしていきたいと思っております。今期もどうぞよろしくお願い致します。

錦川 孝彦
（能登支部）

今期広報部長を拝命いたしました。広報のスタイルはすでに確立されていますが、正確で迅速な情報提供はもちろんのこと、メディアが多様化している中で広報誌誌面とインターネット、それぞれの利点を活かした広報活動を行っていきたいと思います。また、閲読して頂けるよう興味ある題材の掲載を心がけていきたいと思います。

佐藤 裕之
（加賀支部）

事業部長とＳＳＩ委員長を拝命しました。理事就任から14年が経過し、気持ちを新たに公益事業やＳＳＩ活動を務めあげるよう努力いたします。会長をはじめ理事や会員の皆様のご指導を賜り、継続されている事業を確実なものに、

また新しい活動も考えながらやっていきたいと思います。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

真酒谷 清
（金沢北支部）

皆様からのご承認を頂き、４期目の理事職をさせて頂くこととなりました。３期を経験させて頂いた訳ですが、何も分からず走り続けた6年間でした。今期から役員のほとんどが新たな役職に就き、「新･役員体制」へと大きく変動します。「経験を挑戦に」を心の柱として、本会のために頑張っていきます。

津田 佳之
（金沢南支部）

この度、総務副部長・経理副部長を拝命いたしました。昨期は理事就任１期目で役員・理事の先生方のご指導のもと、数多くの職務を勉強させて頂きました。今期は積極的に事業運営を行い、会員の皆様、本会発展のため努力を惜しまず邁進いたします。皆様には引き続き、ご指導ご協力を賜りますようお願いいたします。

西　敏男
（能登支部）

このたび、事業部副部長・ＩＴ委員長を拝命いたしました。このような大役を仰せつかるには、まことに微力ではございますが、先輩理事各位ならびに会員の皆様のご助言、ご協力を仰ぎながら業務に邁進してゆく決意でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

森田　淳
（金沢北支部）

２期目を迎える今年度は、経理副部長、事業副部長、健康やわら体操委員長を拝命しました。委員、部員の方々とともに本会のお役に立てるように努力いたしますので、ご指導とご協力のほど、よろしくお願いします。

川上　勝
（金沢南支部）

今年度より、広報副部長、健康やわら体操副委員長を拝命いたしました川上勝です。力が及ばない部分もありますが、本会のために尽くしていきたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

西　剛志
（加賀支部）

学術副部長を拝命し、これまでの総務部員とは違った立場から本会のお手伝いをさせて頂くこととなりました。若輩者ではありますが、会員の皆様のために自分に何ができるのか、先輩理事の先生方や会員の先生方にご指導を頂きながら一つひとつ勉強し、挑戦していく所存です。何卒、今一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

定時総会で選出された
役員、理事の皆さん。

各部一覧

平成 29・30 年度

渉外部	部　長	堂本義邦
	部　員	嶋谷　清　二ツ谷剛彦
総務部	部　長	山田俊志
	副部長	真酒谷清　津田佳之
	委　員	中西　勝　小倉弘行　山田　誠 波佐谷兼潤　大平和幸　河村三紀
経理部	部　長	金田豊茂
	副部長	森田　淳　津田佳之
学術部	部　長	中村茂之
	副部長	西　剛志
	委　員	磯松俊也　岡本　透　坂井秀一 坂田浩之　高橋真哉　濱　亮輔 柳沢昌孝

保険部	部　長	西川典孝
	部　員	嶋谷　清　二ツ谷剛彦　堂本義邦
広報部	部　長	錦川孝彦
	副部長	川上　勝
	委　員	小松英夫　中野秀人　太田信幸 五十嵐久智　唐木　均　木藤正幸 山本久人
事業部	部　長	佐藤裕之
	副部長	森田　淳　西　敏男
	委　員	折越幸夫　北浦健司　田村修一 山崎一平　竹野敬治　長永孝仁 丸田克幸　日光寿弘　吉川政寛 山田祐輔　城寳忠信　田中寿人

各委員一覧

平成 29・30 年度

法制委員会　委員長　金田豊茂	
副委員長	山田俊志
委　員	田村修一　森田一哉
生涯学習委員会　委員長　中村茂之	
副委員長	西　敏男
委　員	磯松俊也　坂井秀一　岡本透　濱亮輔 髙橋真哉　柳沢昌孝　坂田浩之
裁定委員会　委員長　東　勝一	
委　員	宇野晃進　中田守外夫　山岸哲也 中谷　博
選挙管理委員会　委員長　宇野幸治	
副委員長	三国政樹
委　員	松本多市　中越昌人　中野秀人 赤池敬順　大門　健　東川博一 中谷　博　加藤和生　金谷由久
健康やわら体操普及委員会　委員長　森田　淳	
副委員長	川上　勝
委　員	北浦健司　丸田克幸　河村三紀 津田大資

サポート接骨石川（ＳＳＩ）　委員長　佐藤裕之	
副委員長	金田豊茂　西川典孝　中村茂之 山田俊志
委　員	錦川孝彦　真酒谷清　森田　淳 津田佳之　西　敏男　西　剛志 川上　勝
日本赤十字奉仕団　委員長　嶋谷　清	
副委員長	二ツ谷剛彦　堂本義邦
分 団 長	金田豊茂（金沢北）　西川典孝（金沢南） 中村茂之（加　賀）　山田俊志（能　登）
副分団長	真酒谷清　森田　淳（金沢北） 津田佳之　川上　勝（金沢南） 佐藤裕之　西　剛志（加　賀） 錦川孝彦　西　敏男（能　登）
ＩＴ委員会　委員長　西　敏男	
副委員長	津田佳之
委　員	岡本　透　南野立志
介護保険対策委員会　委員長　真酒谷清	
副委員長	金田豊茂　山田俊志　西川典孝 中村茂之
委　員	錦川孝彦　佐藤裕之　森田　淳 津田佳之　西　敏男　西　剛志 川上　勝

特集 柔道 JUDO

～柔道整復術の源に「武道のこころ」～

柔道の精神を広め、次代に伝えていこう！

柔道整復術の背景には柔術の伝統と精神が流れています。柔道整復師会では会員が柔道の素養を積み「精力善用」「自他共栄」の精神を施術に活かすとともに、柔道競技の普及にも努めています。

第30回（公社）石川県柔道整復師会会旗争奪少年柔道大会

第30回記念大会

鶴来坂田道場 ２年ぶり ９度目の優勝!!

２年ぶりの優勝を決めた鶴来坂田道場の皆さん。

第30回（公社）石川県柔道整復師会会旗争奪少年柔道大会が平成29年5月14日（日）松任総合運動公園「啓武館」で開催されました。県下全域から23チーム368名の選手が参加し、会場は早朝から、観客の熱気と歓声に包まれていました。

この大会の趣旨に共感し、ご協力頂いている方々に感謝の言葉を述べる嶋谷会長。

二ツ谷剛彦副会長の開会宣言の後、嶋谷清会長が「第30回記念大会を迎えることができましたのも、白山市をはじめ関係各位、選手の家族の皆さんのご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。選手の皆さんは日頃の練習の成果を十分に発揮し頑張ってください」と挨拶を述べました。続いて山田憲昭白山市長、本会顧問・馳浩衆議院議員から激励の言葉を賜り、同じく本会顧問・岡田直樹参議院議員から届いたお祝いと激励のメッセージが披露されました。ご参列頂いた、西恒成石川県柔道連盟会長、福島正俊石川県柔道

山下万葉選手が堂々の選手宣誓！

本会顧問の馳浩衆議院議員から選手達に激励の言葉が贈られた。

気迫あふれる試合が続き、会場からの声援が一日中途切れることなく響いていた。

鶴来坂田道場 vs 中能登柔道教室の団体決勝は白熱した接戦に！

団体決勝戦

やったー！優勝だぁ～！

鶴来坂田道場優勝の瞬間。

連盟理事長が見守る中、選手を代表して鶴来道場・山下万葉選手が元気よく選手宣誓を行い、試合が開始されました。途中、本会顧問・佐々木紀衆議院議員が応援に訪れ、選手たちの熱戦に大きな声援を送られていました。

団体決勝では鶴来坂田道場と中能登柔道教室が接戦を繰り広げ、鶴来坂田道場が２年ぶりとなる優勝を果たしました。また午後からは学年別個人戦が行われ、選手たちの気迫あふれる戦いに大きな歓声がわき、会場内は終始熱気にあふれていました。

堂本義邦副会長による講評と閉会宣言が行われ、大会は無事終了。表彰された選手だけでなく、参加したすべての選手の表情が達成感で輝いていました。

優勝おめでとうございます!!

選手にインタビュー！

どの選手もオリンピックへの憧れを語ってくれました。実に頼もしい！

男子１年の部　**吉田 寛智**（鶴来）
すごくうれしい。お父さんお母さん、先生ありがとう。

男子２年の部　**石橋 慶己**（犀川）
お父さんお母さん、そして先生ありがとう。

男子３年の部　**水道 啓人**（中能登）
両親と指導してくれている先生にありがとう。

男子４年の部　**林 諒太朗**（中能登）
両親といつも指導してくれる先生にありがとう。

男子５年の部　**野澤 貴哉**（犀川）
本大会初めての優勝ですごくうれしい。父母と細かく指導してくれる先生に感謝です。

男子６年の部　**藤岡 響基**（邑知）
先生いつも様々な指導をありがとうございます。父母には送り迎えをしてくれて感謝です。

女子１年の部　**北村 啓衣**（鶴来）
頑張っていたので思ったよりすんなりいけました。先生、お父さんお母さん、ありがとう。

女子２年の部　**原田 芽衣**（犀川）
苦戦しました！応援ありがとう。松本薫選手みたいになりたい。

女子３年の部　**坂 明音**（犀川）
初めての優勝で、きつかった分うれしいです。周りの応援がうれしかった！。

女子４年の部　**廣江 清葉**（窪田）
父母の応援と先生の指導のお陰で順調に試合を運べました。松本薫選手が目標。

女子５年の部　**河崎 蒼**（窪田）
両親と先生に大感謝。団体・個人で準決勝戦は辛かった。無敵になりたい。

女子６年の部　**林 弘華**（中能登）
準決勝、決勝は辛い場面もありもっと強くなりたい。周りには感謝の言葉しかありません。

団体戦優秀チーム大将　**堀 隼陽人**（鶴来坂田）
先生・両親のこれまでの応援に感謝するとともに、全国大会で悔いのない試合にしたいと思います。応援をよろしくお願いします！

優勝した鶴来坂田道場は、10月８日に東京の講道館で開催される日整全国少年柔道大会に出場します。

なお、試合結果の詳細は本会ホームページをご覧ください。

団体戦、個人戦で好成績をおさめた皆さん。おめでとうございます！

【総合成績表】

平成 29 年5月 14 日　啓武館

団　体　戦		最優秀選手	野中　海心	坂田
優 勝	鶴来坂田道場	優秀選手	堀 隼陽人 / 坂田	辻 陽風 / 加賀
2 位	中能登柔道教室		大島 寛次郎 / 中能登	岩見 悠平 / 津幡
3 位	窪田柔道倶楽部		松川 想良 / 窪田	森田 結喜 / 能美
3 位	内灘町少年柔道教室		中居 優太郎 / 内灘	上田悠太郎 / 松任

個人戦 男子１年生		所属チーム	個人戦 男子２年生		所属チーム	個人戦 男子３年生		所属チーム
優 勝	吉田　寛智	鶴来	優 勝	石橋　慶己	犀川	優 勝	水道　啓人	中能登
2 位	山崎　康喜	坂田	2 位	辻　慈吾	加賀	2 位	坂井　悠人	坂田
3 位	廿日岩逞馬	坂田	3 位	大久保　頼	犀川	3 位	前田　源太	中能登
3 位	中村　善	鶴来	3 位	村上　未来	犀川	3 位	角地　一颯	輪島

個人戦 男子４年生		所属チーム	個人戦 男子５年生		所属チーム	個人戦 男子６年生		所属チーム
優 勝	林　諒太朗	中能登	優 勝	野澤　貴哉	犀川	優 勝	藤岡　響基	邑知
2 位	喜多　雄大	坂田	2 位	北野慎之祐	中能登	2 位	広瀬　大和	津幡
3 位	國本　宙良	坂田	3 位	野中　海心	坂田	3 位	鈴木　覇	窪田
3 位	岡田凰之介	邑知	3 位	丸田　大道	犀川	3 位	松川　想良	窪田

個人戦 女子１年生		所属チーム	個人戦 女子２年生		所属チーム	個人戦 女子３年生		所属チーム
優 勝	北村　啓衣	鶴来	優 勝	原田　芽衣	犀川	優 勝	坂　明音	犀川
2 位	生田　彩恵	内灘	2 位	中野里衣菜	坂田	2 位	三崎せれな	坂田
3 位	竹田　朱那	七尾	3 位	中畠　美月	邑知	3 位	岩崎　花咲	輪島
3 位	村　姫花	窪田	3 位	平　梨乃	松任	3 位	山森　陽菜	中能登

個人戦 女子４年生		所属チーム	個人戦 女子５年生		所属チーム	個人戦 女子６年生		所属チーム
優 勝	廣江　清葉	窪田	優 勝	河崎　蒼	窪田	優 勝	林　弘華	中能登
2 位	堀　紗羅葉	坂田	2 位	大河内結衣	窪田	2 位	杉山　夏妃	松任
3 位	平　彩乃	松任	3 位	中村　美羽	七尾	3 位	山下　万葉	鶴来
3 位	松本　日和	中能登	3 位	渡辺　杏樹	内灘	3 位	新木　美紅	石野

特集 柔道 JUDO

四支部対抗柔道大会 兼 北信越ブロック柔道大会選手選考会

金沢南支部 連勝記録を伸ばす

優　勝
金沢南支部
準優勝
金沢北支部
３　位
能登・加賀支部

平成29年4月9日（日）、白山市松任総合運動公園「啓武館」において平成29年度四支部対抗柔道大会兼第40回北信越ブロック柔道大会選手選考会が開催されました。選手は各支部の栄誉と代表の座をかけて熱戦を展開しました。

第１試合　能登・加賀支部合同vs金沢北支部

日整全国大会出場経験者の小倉選手を中心とした金沢北支部が５対０で圧勝。能登・加賀支部の大将・赤池選手が初戦の緊張の中、手に汗握る懸命な戦いを繰り広げました。

第２試合　金沢南支部vs能登・加賀支部合同

金沢南支部は昨年度の石川県代表として活躍した４選手に大将の北浦選手が加わる最強チーム。能登・加賀支部の各選手も懸命に挑みましたが、５対０と金沢南支部が圧勝しました。

決勝戦　金沢南支部vs金沢北支部

いずれのチームも百選練磨の猛者ばかり。金沢北支部の優勝奪回に注目が集まりましたが、結果は４対１で金沢南支部の連覇。先鋒から大将戦まで実力伯仲で、どの試合も後半に勝敗がつく決勝戦にふさわしい戦いでした。

試合終了後、小倉、北浦、丸田の３選手による50代の代表選手選考試合が行われ、僅差で北浦選手が代表となりました。以上の結果を受けて、６月17日（土）に長野県で開催される北信越ブロック柔道大会の選手が選ばれました。11連覇を目指して厳しい練習に打ち込む選手たちへの応援をよろしくお願いします。

◉出場選手の皆さん　　太字は会長奨励賞

	金沢南支部	金沢北支部	能登・加賀支部
先鋒 20代	窪田 和樹	福岡　亮	**森 陽一郎**
次鋒 30代	田中 寿人	山田 祐輔	堅田 大介
中堅 30代	城寳 忠信	松永 日和	片倉 英介
副将 40代	丸田 克幸	小倉 弘行	西　敏男
大将 50代	**北浦 健司**	**長永 孝仁**	**赤池 敬順**

連勝記録をまた一つ伸ばした金沢南支部。

金沢北支部

能登・加賀支部

特集 柔道 JUDO

第39回北信越ブロック柔道大会 長野大会

前人未到の11連覇達成!!

平成29年6月17日(土)、長野運動公園総合運動場体育館・柔道場にて開催された第39回北信越ブロック柔道大会長野大会において、石川県チームは11連覇を達成しました。

当日は午後1時30分の試合開始までに、石川県から約30名の会員が応援に駆け付け、代表選手一人ひとりに激励の言葉をかけました。各チームいずれも劣らない百戦錬磨の選手揃いで熱戦が続き、会場には大きな声援が飛び交っていました。

石川県チームは、第一試合の富山戦で4対0、第四試合の福井戦では3対0と圧倒的な強さで勝ち進みましたが、決勝の長野戦では先鋒から副将まですべて引き分けとなり、両チームの応援団も緊迫した面持ちで試合の行方を見守りました。しかし、迎えた大将戦では北浦健司選手が胸のすくような小外刈りで一本勝ちし優勝が決定、会場は割れんばかりの拍手と歓声に包まれました。

石川県代表選手・監督の皆さんお疲れ様でした。厳しい練習を積み上げて手にした優勝には込み上げるものがあると思われ、応援している

我々も胸が熱くなりました。

なお、最優秀選手に北浦健司選手が選ばれました。また、10月8日(日)開催の日本柔道整復師会柔道大会全国大会に北信越西部代表として石川県から、窪田和樹、田中寿人、城寶忠信、北浦健司の各選手が出場することが決定しました。万全の体調で大会に臨み、ご活躍されることをお祈りします。

【試合結果】

第一試合 石川県4－0富山県
窪田和樹(けさ固め)／城寶忠信(合わせ技)／小倉弘行(崩れけさ固め)／北浦健司(小外刈り)

第二試合 新潟県0－2長野県

第三試合 福井県2－0富山県

第四試合 石川県3－0福井県
窪田和樹(縦四方固め)／田中寿人(合わせ技)／城寶忠信(横四方固め)

決勝戦 石川県1－0長野県
北浦健司(小外刈り)

西川典孝柔道部長が北信越ブロック柔道大会功労者表彰を受賞しました。
おめでとうございます。

石川県代表チームと頼もしい声援を送り続けた応援団の皆さん。

石川県代表選手の皆さん

先鋒
窪田 和樹（三段）
出場2回目

次鋒
田中 寿人（五段）
出場9回目

副将
小倉 弘行（五段）
出場18回目

中堅
城寳 忠信（五段）
出場9回目

大将
北浦 健司（七段）
出場17回目

皆さんの応援で“常勝石川”の重圧を撥ね返すことができました

本会会員の方々、また当日遠路長野県まで応援に駆け付けてくださった方々、皆さまのおかげをもちまして、念願の優勝を勝ち取ることができました。心より感謝申し上げます。

常に優勝候補の筆頭と言われ、昨年までに築き上げてきた 10 連覇という偉業と伝統を守ることは、かなりの重圧でした。選手一人ひとりが優勝に向かって心をひとつにし、1 か月半の強化練習に励んだ証を 11 連覇という輝かしい成果として残すことができたことを嬉しく思います。

選手各位には、日々の施術で心身ともにお疲れの中での稽古、本当にご苦労さまでした。今後は 10 月の日整全国大会に向けてさらに精進し、より良い成績をめざしたいと考えております。

最後になりましたが、強化練習にご参加頂きました学生の皆さま、また練習中にたくさんのご支援やご協力を頂いた皆さま方に、この誌面をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

石川県代表監督　**二ツ谷 剛彦**（六段）

(公社)日本柔道整復師会 第39回北信越学術大会長野大会

北信越各県から200名以上が参加

平成29年6月18日（日）長野市のホテル国際21において、第39回北信越学術大会長野大会が開催されました。当日は、特別公開講座、協賛研究発表、会員研究発表、実技発表、ランチョンセミナーが行われ、会場には200名を超える方々が来場し、真剣な表情で聴講していました。

トレーニング＋モチベーションが機能回復の鍵と中澤教授。

特別講演公開講座では、東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授の中澤公孝先生を講師に「パラリンピックブレイン～パラアスリートにみる脳の再編能力～」と題した講演が行われました。

人間の運動制御研究に従事されてきた中澤教授の最終目的は、脊髄損傷者の歩行再獲得にあります。ニューロリハビリテーション（神経のリハビリ）を繰り返し行うことにより、軽度の脊髄損傷なら新たな神経回路ができて機能回復が期待できます。その効果は、「運動」に「脳からの随意指令」がプラスされることでより効果が出ることがわかってきました。つまり、トレーニングにモチベーション（高いやる気）をプラスすることが最も効果を上げるのです。

そこで研究対象をパラアスリートに拡大し、中枢神経の再編による回復から記録の向上を目指します。パラアスリートにみる運動効果は、最大級のモチベーションとハードトレーニングの結晶であり、運動機能の再編が可能であることの実証になります。このことはニューロリハビリの最良のモデルであり、障害を持つ多くの人々や高齢者の希望となります。また、ips細胞など再生医療の成否はその後のリハビリによる神経再編をどう導くかにかかっていると結ばれました。

協賛発表

「鎖骨遠位端骨折の近年の分類と保存療法の選択」

北信越柔整専門学校助教　**吉森 文香先生**

保存療法を行った鎖骨遠位端骨折の4症例を提示、骨折型分類から自身が経験した症例に考察を加え発表。

会員研究発表

「超音波観察から見た筋挫傷の実体」
～生体内アクトミオシン形成の可能性～

岡本 透会員

打撲及び捻挫の超音波観察装置から得られた硬化像が、アクトミオシン複合体であるという仮説のもと、文献から生化学的に考察を行なった。

この仮説が証明されれば、私たちの業務拡大につながると思っています。

2年後のブロック学会石川大会に多くの会員が参加頂けるようチャレンジしていきます!

岡本会員発表の座長を務めた中村茂之学術部長。

※詳細については学会誌抄録をご参照ください。

サポート接骨石川（SSI）活動 ❶

加賀温泉郷マラソン2017

すごい人数！迫力のスタート。

平成29年4月16日（日）加賀市陸上競技場にて加賀温泉郷マラソンが開催され、本会から「日本赤十字奉仕団・サポート接骨石川（SSI）」として、フルマラソン・10km・5kmを走る選手のケア・サポートを行いました。

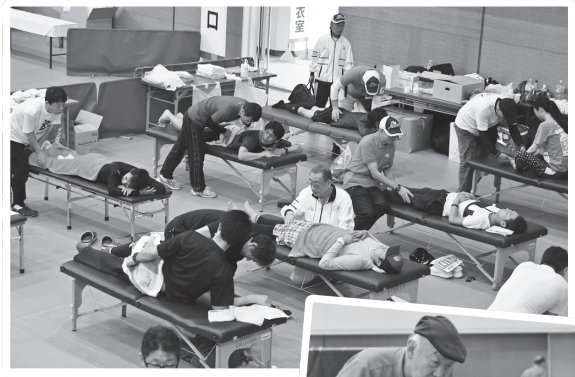
当日は風が強いものの快晴となり、気温も徐々に上昇。加賀温泉郷（山中温泉・山代温泉・片山津温泉）を巡るアップダウンの強いコースゆえ脱水症状も危惧されましたが、選手たちは沿道からのたくさんの応援やエイドステーションでのおもてなしに背中を押され、春粧の加賀路を満喫していました。

トレーナーブースには、午後1時すぎからフルマラソンの選手達が続々と訪れました。疲弊した選手に対して、早めに着替えをして保温を確保するように、また痙攣等がある場合はすぐに申し出るように声をかけるなど、待合の選手の様子にも気を配りながらケアを行いました。

今大会はレース後だけの活動でしたが、午後4時の終了までに27名の会員で227名の選手（参加選手6076名）にケアを行いました。なお途中、宮元陸加賀市長がブースを視察に来られ、感謝と激励の言葉を頂きました。

ゲストランナーの増田明美さんと間寛平さんが会場を盛り上げる！

来年は今回の経験をもとに、より質の高いケアを施していきたいと考えています。


レースを終えた選手227名にケアを実施。

フルマラソンを走った選手たちは消耗し切ってクタクタだ。

サポート接骨石川（SSI）活動❷

第31回猿鬼歩こう走ろう健康大会

能登の自然の中をひた走る。

平成29年5月7日（日）、能登町柳田運動公園で「第31回猿鬼歩こう走ろう健康大会」が開催され、「走ろうの部」と「歩こうの部」に県内外から1398名が参加しました。本会からは「日本赤十字奉仕団・サポート接骨石川（SSI）」として会員23名がケア・サポートを実施、この大会での活動は今年で15回目となります。

大会前日、柳田体育館でブースの設営を行ったあと午後５時からテーピングに関するサポート研修会を実施して本番に備えました。

マイペースで楽しむ歩こうの部もスタート！

能登高校 迫力の書道パフォーマンス。

柳田小学校の生徒さんが選手宣誓！

当日は晴天にめぐまれ、朝６時50分には早くも選手が受付に並び、コンディショニングとケアを開始しました。「走ろうの部」には３kmからハーフマラソンまで４つのコースが、「歩こうの部」にも４つのコースがあり、子ども達から高齢者、記録を狙うランナーからダイエット目的の人まで幅広い選手が参加します。希望されるケアも様々ですが、ケア・サポートの経験を積んだ会員がスムーズに対応します。

10時過ぎには、職場体験学習の一環で地元「中島中学校」の生徒４人が活動に加わり、３人の女子生徒との男子生徒が交代で選手の案内、ベッドの消毒と一生懸命に動いてくれました。ケア・サポート活動に中学生が加わるのはとても珍しいこと。これも今までの積み重ねによって、大会関係者だけでなく先生方や父兄にも「間違いのない活

職場体験学習の中学生４人がブースで大活躍。

能登町有線テレビの取材を受ける。

動」だという信頼を頂いている証拠だと思います。手探り状態で立ち上げたケア・サポート活動ですが、機材やベッドの手配に苦労していた当時から一貫して、全員が「選手に楽になってもらいたい」「いいコンデションで好成績を残してもらいたい」という気持ちで対応してきたことが現在の信頼につながっていると思います。

30回の記念大会だった昨年に比べて参加者は575人減りましたが、ケアを受けた人は昨年より１人だけ少ない203人でした。「ありがとうございました」と笑顔でブースを出て行く人々を見ていると、我々のケア・サポート活動が本当に喜ばれていることを実感します。歴史ある大会のためにも、これからも頑張ります。

幅広い選手が参加し希望されるケアも様々。

今年は203名がブースを訪れた。

サポート接骨石川（SSI）活動❸

第66回 金沢百万石まつり

第66回金沢百万石まつりが平成29年6月2日（金）より始まり、3日（土）には百万石行列と百万石踊り流しが華やかに行われました。石川県柔道整復師会ではサポート接骨石川（SSI）活動の一環として金沢北支部会員を中心に17名が、他の日赤奉仕団の人たち201名とともに救護、安全のボランティア活動に参加しました。

今年は利家公に保阪尚希さん、お松の方に佐藤藍子さんが扮した。

百万石まつりは天正11年（1583年）に加賀藩祖前田利家公が金沢城に入城し、金沢の礎を築いた偉業を偲んで毎年6月の第一金曜日から3日間開催されています。新幹線開通後は、毎年40万人を超える観客が訪れ、武者行列や加賀とびはしご登りなど様々なパフォーマンスを満喫しています。行列のスタート地点の金沢駅東広場前では、出発セレモニーを見ようと早くから大勢の人で溢れ、歩くこともままならない状況でした。

ボランティアスタッフは金沢駅本部で正午から

救護テントを設営し入念に打ち合わせ（近代文学館前）。

ミーティングを行ったあと、すぐにテントを設営して活動に入りました。午後２時に出発セレモニーが始まり行列がスタートすると、行列の進行と合わせて本部を移動し、香林坊本部では行列のあと百万石踊り流し終了の午後９時過ぎまで活動が続きました。他の日赤奉仕団の方々とともに、巡回をしながらの急病人やケガ人の対応、救急車の進入路確保、迷子の対応を行いました。

肌寒い天候の中での活動でしたが、大きなイベントを陰ながら支え、無事救護ボランティアを終えられたことを嬉しく思います。

賑わう街の中を巡回。

日赤奉仕団として201名が活動に参加。

本会では北支部を中心に17名が活動した。

下半期のSSI活動予定

9月

2日(土) 加賀温泉郷 寛平nightマラソン ケア･サポート

3日(日) 県総合防災訓練 参加

24日(日) KOMATSU全日本鉄人レース ケア･サポート

10月

15日(日) 野々市じょんからの里マラソン大会 ケア･サポート

29日(日) 金沢マラソン ケア･サポート

3月

11日(日) 能登和倉万葉の里マラソン ケア･サポート

第14回全国小学生学年別少年柔道大会石川大会

平成29年６月11日(日)、石川県武道館において開催された学年別少年柔道大会石川大会に西剛志会員が救護スタッフとして参加、試合中に起こった外傷等に対し適切に処置を行いました。

救護所に待機する西剛志会員。

支部だより

金沢北支部

金沢北支部委員会を開催

新メンバー投入でパワーアップ

平成29年5月17日(水)午後9時より、柔整会館において金沢北支部委員会が行われました。北支部選出の理事と委員で本年度の支部行事について、昨年の総括をまじえながら意見を交わしました。なお、本年度より新しく平林祐一会員が委員として参加、若い世代の意見もおおいに取り入れながら、理事3名、委員9名の体制で北支部の活動を支えることになりました。

加賀支部

加賀支部委員会を開催

新支部長のもと新年度スタート

平成29年6月13日(火)午後8時30分より、中村接骨院において加賀支部委員会が行われました。中村茂之支部長の挨拶の後、①新役員、委員会構成に関する件 ②年間行事に関する件 ③報告事項などについて、検討がなされました。

今年度から新理事と新委員が加わってより一層のパワーアップが期待できるなか、各行事ごとに担当者を決めて準備等を行っていくことが確認されました。

中村新支部長のもと、力強く支部運営を執り行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◆ 各支部の役員＆委員

金沢北支部

支部長 金田 豊茂
理　事 真酒谷 清・森田　淳（会計）
委　員 山上 隆之・竹野 敬治・長永 孝仁
小倉 弘行・小松 英夫・吉川 政寛
坂田 浩之・大平 和幸・平林 祐一

金沢南支部

支部長 西川 典孝
理　事 津田 佳之・川上　勝（会計）
委　員 丸田 克幸・中川　渉・城寶 忠信
田中 寿人・河村 三紀・月田 考紀
松村 健司

加賀支部

支部長 中村 茂之
理　事 佐藤 裕之・西　剛志（会計）
委　員 中田 健市・麻田　浩・五十嵐久智
森田 一哉・唐木　均・橋本 昌治
堀松 郁子・堅田 大介・森 陽一朗

能登支部

支部長 山田 俊志
理　事 錦川 孝彦・西　敏男（会計）
委　員 赤池 敬順・梶　雅彦・河合 甚敏
坂下 竜彦・中野 秀人・濱　亮輔
波佐谷兼潤・物應　明・山田　誠
山本 久人

第23回 石川県柔道整復師協同組合 通常総会を開催

各議案について担当委員長が詳細に説明。

第23回 通常総会
午前10時30分開会

組合員数／ 341名
出席者数／ 288名
（委任状133名含む）
欠席者数／ 53名
総合司会／岡本 透総務委員長

平成29年4月23日(日)午前10時30分より石川県地場産業振興センターにおいて、第23回石川県柔道整復師協同組合通常総会が開催されました。

開会に先立ち、橋本大衛理事長から挨拶で、平成28年10月19日、いしかわ総合スポーツセンターで行われた全国中小企業団体中央会全国大会への出席と柔道整復施術療養費支給申請書の印刷業者の変更について報告。石川県柔道整復師協同組合はこれからも相互扶助の精神で運営していく旨を伝え、組合員に感謝の意を述べました。

次年度に向けて決意を述べる橋本理事長。

続いて総会に移り、議長に坂井秀一組合員が選出され審議が行われました。

坂井秀一組合員が議長に選出された。

【議　事】

第１号議案　平成28年度事業報告

岡本透総務委員長より報告があり、承認されました。

第２号議案　平成28年度収支決算報告及び損失処理並びに監査報告

田村修一財務委員長より説明があり、佐藤一弘監事による監査結果の報告の後、承認されました。

10名の理事と2名の監事が選出された

西敏男組合員（左）と藤森優組合員に感謝状が贈られた。

石川県柔道整復師協同組合 通常総会

第３号議案　平成29年度事業計画(案)

第４号議案　平成29年度収支予算(案)

岡本総務委員長より事業計画(案)が、田村財務委員長より収支予算(案)が説明報告され、承認されました。

第５号議案　役員改選の件

指名推薦制にて10名の理事、２名の監事が選出され、承認されました。

第６号議案　その他

通常総会開会前に過去10年以上役員を務めた藤森優、西敏男両組合員に、その功労を称えて感謝状が贈られました。

◆第24・25期 役員構成

相談役　久世 正次

理事長　橋本 大衛

専務理事　岡本　透

理　事　錦川 孝彦・木藤 正幸・小松 英夫
西　敏男・津田 佳之・丸井 一範
山崎 一平・西　剛志

監　事　佐川 信之・嶽 与志蔵

各委員

総　務　五十嵐久智・中野 秀人・南野 立志
池野　宏・高出 伸也・坂田 浩之
廣瀬　淳

財　務　田村 修一

購買促進　森田 一哉・赤池 敬順・中田 健市

福利厚生　今村　均・村 扶希子・吉田 宜正

教育情報　北川 隆之・堀松 郁子・中村 克章

ホームページやフェイスブックがより充実
お役に立つ情報が満載です

どんどんアクセスしてください

(公社)石川県柔道整復師会や石川県柔道整復師協同組合では、活動の内容をより多くの方々に知って頂くためにホームページやフェイスブックに公開しています。アクセスして頂けば、本会の活動の様子や本会に所属する各地域の接骨院についての情報、お知らせのほか、健康のお役に立つ情報等が満載です。また、フェイスブックに「いいね」を押して頂くことで世界中の方々にご覧頂けるようになります。ぜひ、ご覧ください。

アクセス簡単
QR コード

石川県柔道整復師協同組合
http://www.ishiju.jp/

(公社)石川県柔道整復師会
http://jyuusei-ishikawa.jp/

アクセス簡単
QR コード

アクセス簡単
QR コード

公式フェイスブック
https://www.facebook.com/sekiseikai/

トピックス❶

ISTが総会・継続認定講習会を開催

総会で挨拶するIST北岡克彦会長。

平成29年４月２日(日)、ＩＳＴ(石川県スポーツトレーナー連絡協議会)の平成28年度総会・継続認定講習会が木島病院体育館において開催されました。総会には会員54名が出席し、平成28年度の決算・事業実施報告がなされ、平成29年度予算案・事業計画案が可決されました。

総会終了後、元全日本男子バレーボール代表で、現在はＶリーグで活躍するＰＦＵブルーキャッツ(石川県)のコーチ・加藤陽一氏を講師に迎え、『スポーツ選手のキャリアトラジション～バレーボール選手のセカンドキャリア～』のテーマで講演がありました。

加藤氏の筑波大学大学院での研究や移籍したイタリアセリエＡでの話、企業が必要とする人材とスポーツ選手がやるべきこと、スポーツトレーナーとしてコミュニケーション能力の重要性など情報が満載でした。

今年はスポーツナース講習会を修了された皆さんも参加され、熱心に聞き入っていました。

加藤氏の講演にはスポーツトレーナーとして必要な情報が満載だった。

金沢北支部

平成29年4月1日入会

今川 真昭

(いまかわ まさあき)

生年月日	昭和35年4月3日
出身校	北信越柔整専門学校
住所	金沢市山の上町4-22
接骨院名	学校法人木島学園 木島接骨院
電話	076-252-2121
特技・趣味	読書・映画鑑賞・柔道・写真

金沢北支部

平成29年4月3日入会

俵 大輔

(たわら だいすけ)

生年月日	昭和54年2月22日
出身校	北信越柔整専門学校
住所	河北郡津幡町字中橋イ55-2
接骨院名	みんなで笑顔「木のおうち」接骨院
電話	076-208-7560
特技・趣味	スポーツ観戦

編集後記

❖本会でも、ホームページやフェイスブック、会報など、情報をお伝えする手段が増えていく中で、「ビバ・シティ」の役割が問われています。興味を持たれた本会の活動はインターネットで閲覧するという方も多いかと思います。それ以外の方に向けた情報発信ツールとして本誌が必要なのはもちろんですが、A4サイズのその行間にギュッと込められた作り手の想いを感じ取って頂けるような、ネットとは違う魅力を持つ誌面にしたいと思っております。まずは会員の皆様の待合に置いて頂きますようお願いいたします。（錦川）

❖本年度より、広報副部長を拝命しました。広報担当として初めての北信越ブロックに参加しましたが、見たもの、感じたもの、思ったことを伝えなければと思うと、今までとは違うものでした。何もかもが初めてでわからないことばかりでしたが、今後は広報部員の先生方と一緒に錦川部長を支え、本会を盛り上げていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。（川上）

❖長年にわたり広報部をけん引し、様々な新企画を実現し写真部を充実させた佐藤裕之部長と木山隆久副部長、格調ある文章が持ち味の橋本大衛委員が広報部を卒業されました。本当にご苦労様でした。残った我々は錦川孝彦新体制のもと今後もがんばりたいと思います。
それにしても広報部でカメラにハマってしまい、カメラに投資ばかりしている私の卒業はいつだろうか。（中野）

❖今年度から広報部員になりました能登支部の山本と申します。雑誌（広報誌）作りは、もう10年ほど前に子どもの中学校の季節報の制作をお手伝いしたくらいで、老化とともにやり方も忘れて怪しい限りです。ただ任せられたからには老化した脳から記憶を掘り出し、老眼にムチを入れながら頑張っていきたいと思います。皆さんよろしくお願いいたします。（山本）

❖夏が近づくと、決まってわが家は名もなき小さな虫たちの襲来を受けます。防虫シートも殺虫剤も奴らには効果なし。しかし、そこへ現れた救世主。その名もアマガエル。彼らの出現で驚くほど虫たちは姿を消しました。所詮は人間の浅知恵、自然の力には遠く足元にも及びませんね。（太田）

❖今年の夏は九州も北海道も軒並み35度を超える酷暑があったり、一部地域で局地的な集中豪雨が断続的に続いたりしました。私の頭の中にある緩やかな季節の変わり目や、日本の四季というものが何処かに行ってしまったような気がします。今年だけが異常なのか、それともこれが正常なのか、それは来年になってみないとわからないですね。ともかく、この度の異常気象で被災された地域の皆様方に心よりお見舞い申しあげます。（小松）

❖この原稿を考えているのが7月24日、ちょうど3年後の2020年7月24日に東京オリンピックが開催されます。すごく楽しみで、たくさんのメダリストが誕生することを心から願っています。さて3年後、私たちの業界を取り巻く環境はどうなっているでしょうか、そして私自身はどうなっているのか…？今日という日を心にとどめておいて、3年後の開会式の日に思い出したいと思います。（木藤）

❖スイカがうれしい季節だ。アフリカのサバンナや砂漠地帯が原産で、暑い夏、食べてもおいしいがスイカ割りも楽しそうだ。それがビックリ！スイカ割りにも公式ルール（日本スイカ割り推進協会認定版）があるというのだ。空振り0点、スイカに当たれば1点、ひび割れができたら2～4点、赤い果肉が見えた5～10点等々。みなさん、この夏、海や山で盛り上がりましょう！（唐木）

❖『出張！なんでも鑑定団』が小松市にやってくるとか。今もあればと後悔するのが、9歳の頃、積雪の不自然な数十センチの縦穴の底にあった溶けたような丸い小石2個…ええ、遠～くに投げ棄てました。もしかして隕石だった？ ああ、穴ズレ五十円エラー硬貨、二重の福耳の付いた旧千円札…さっさと使っちゃいました。情報・知識が欠落していると残念な結果になるということですよねぇ（泣）。（五十嵐）

ビバ・シティVOL.17 石整広報103 （平成29年8月20日発行）

■発行所／公益社団法人石川県柔道整復師会
石川県金沢市広岡２丁目3-26
TEL076-233-2122㈹ FAX076-233-2196
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp
■発行者／嶋谷 清
■編集者／錦川 孝彦・川上 勝・中野 秀人・山本 久人・小松 英夫・太田 信幸・木藤 正幸・唐木 均・五十嵐 久智

撮影　加賀支部　佐藤 裕之会員
使用カメラ：ニコンD5300
使用レンズ：AF-S NIKKOR 18㎜-250㎜
撮影データ：Aモード・絞りf/8・露出1/100sec・
iso 400・ホワイトバランス　日陰

［河北潟ひまわり村の夕日］

河北潟干拓地の夏の風物詩「ひまわり村」は、1995（平成7）年に開村。毎年5月下旬に地元の園児たちが種まきをし、7月下旬から8月上旬にかけて、2.3ヘクタールの敷地一面に35万本の「ハイブリッドサンフラワー」（ヒマワリの品種）が咲き誇ります。高さ2メートルものひまわりの間を縫って作られた迷路には、夕暮れ近くまで子どもたちの歓声が響いています。
ひまわり村全体を見渡すには、東側に設置された展望台がおすすめです。

公益社団法人 石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26
TEL076-233-2122㈹ FAX076-233-2196
E-mail　ishiju@spacelan.ne.jp